

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

106

今年も暑い夏がやってくる？
緑のカーテンにチャレンジ！



田原市では、夏季の省エネ対策として緑のカーテンの設置を推進しています。

今回は、ゴーヤを使った緑のカーテンの作り方を紹介します。

●土をつくる（4月）

プランターの底に鉢底石を敷いて、その上から園芸土や腐葉土を混ぜて作った土を入れます。

●種をまく（4月～5月）

ビニールポットに種を2、3粒まきます。ゴーヤの種は、芽が出やすいように先端をカットして、一晩水につけたものを植えます。

●苗を植える（5月～6月）

芽が出て、葉の数が4、5枚になったら、プランターに植え替えます。

苗と苗の間は、30cm程度空けます。

●ネットを張る（6月～）

ネットは、ベランダや手すりなどしつかり張って結びます。固定する場所がないときは、支柱を立てます。

この取り組みを応援するため、緑のカーテンを設置する市民の方々にゴーヤの種を無料で配布します。

◆配布期間

4月15日～5月29日（平日の業務時間内）

◆配布対象

市内に在住・在勤で「たはらエコチャレンジ宣言」に登録された方

◆配布方法

市役所環境政策課窓口までお越しください。

●窓口にて「たはらエコチャレンジ宣言」の登録も可能です。

●なくなり次第終了とさせていただきます（先着100名）。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人179人・事業所44カ所（3月末現在）

▼環境政策課

☎23局7401 FAX23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

環境戦隊たはらエコレンジャー 環境けいじばん 31



注意しましょう。

また、捨てる前にしっかりと水切りをしましょう。

●ごはん一膳（大人）

約150g

●キャベツの葉1枚

約50g

●にんじん（中）1本

約100g



田原市ごみ処理基本計画では平成38年度までに、家庭から出るごみを1人1日あたり360gにすることを目標としています。目標達成には平成25年度のごみ量から1人1日あたり166g減量する必要があります。具体的に何をどのくらい減らしたらいのでしょうか？今回は、身近なものの重さについてお伝えします。



●もやせるごみの中には、分ければ資源となる紙やプラスチック容器などが多く入っています。

●A4のコピー用紙1枚 約4g

●新聞紙1日分 約200g

●シャンプーのボトル1本 約70g

●卵のパック1個

約16g

●1ℓの牛乳パック

1個 約30g



●食べ残しや調理くずなどの生ごみも多く、割合を占めています。食事の作り過ぎや食材の買い過ぎに

●マイバッグやマイ箸などの繰り返し使用できるものを使用すること

で、余分なごみが出なくなります。

●レジ袋（10ℓ）1袋 約10g

●割り箸1膳 約5g

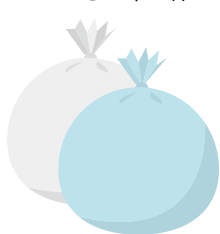
●もやせるごみを1人1日あたり1g減らすだけで

も、田原市全体

で実施すると年

間約23tと大きな減量につながります。

小さなものからでも、買い方・捨て方を考えてみませんか。



▼廃棄物対策課

☎23局3538 FAX23局0180